

# 読みが苦手な子供への適切な支援のために

## <学習障がいの特性>

学習障害とは、学習に必要な**基礎的な能力**のうち、一つないし複数の特定の能力について**なかなか習得できなかつたり、うまく発揮**することができなかつたりすることによって、**学習上、様々な困難に直面**している状態である。  
「教育支援資料」から

## <読みが苦手な子供の実態把握の例>

の子ども様子

- ・ 逐次読み（一文字ずつ読む）や、遅延（言葉がすぐに出てこない）がある。
- ・ 読むことを苦手としており、学習への意欲が低い。

実態把握の具体例

### 「聞き取りシート」の活用

#### 【項目】（抜粋）

- ・ 好きなこと、嫌いなこと
- ・ 休みの日にしていること
- ・ 大人になったら、やってみたいこと
- ・ 授業中、考えていること
- ・ 宿題について
- ・ テストについて
- ・ 試してみたい勉強の仕方
- ・ その他

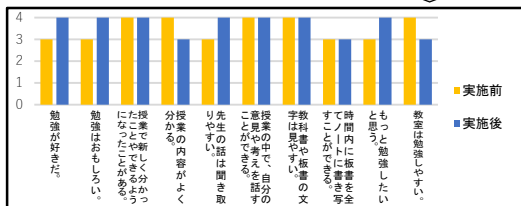
#### 《子どもからの聞き取り内容（抜粋）》

- ・ 嫌いな教科は、国語、特に漢字。平仮名と片仮名が混同する。
- ・ ほかの行を隠して1行ずつ読む方法は、読みにくい。
- ・ 文字は大きい方が読みやすい。
- ・ 先生が早口で、何を言っているのかわからないときがけっこうある。

### 「授業についてシート」の活用

#### 【項目】（抜粋）

- ・ 勉強が好きだ。
- ・ 授業の内容がよく分かる。
- ・ 授業の中で、自分の意見や考えを話すことができる。
- ・ 時間内に板書を全てノートに書き写すことができる。
- ・ もっと勉強したいと思う。



グラフにすることにより、支援の前後で変化を読み取りやすくなる。



## 子供の本質にせまる実態把握

「聞き取りシート」や「授業について」の活用により、適切な支援への手掛かりをつかみ、学ぶことへの意欲を高めることが効果的です。

※資料中の 「聞き取りシート」や 「授業についてシート」をクリックすると、ダウンロードできます。